

イラストですっきりわかる
物流のしくみと現代事情

Vol.1

はじめに

すべての産業を支える物流

日本の物流が本格的にスタートしたのは江戸時代の海運です。

17世紀なかばに完成した日本海、瀬戸内海、太平洋を、本州に沿って一巡する廻船航路は、徳川幕府が生活物質や年貢米を全国から江戸などに集めるために開発されました。

明治時代には鉄道網の整備が急ピッチで進みます。明治政府は欧米列強に追いつこうと、富国強兵政策を打ち出しました。たとえばJR高崎線開設の目的は、群馬にある富岡製糸工場から横浜港まで生糸や絹織物を運び、海外に輸出するためでした。

昭和に入り、戦後には道路の建設が進みます。その目的は国民の足を整備すると共に、日本が国際社会に復帰するための産業振興でした。令和の今でも、夜の高速道路を走る多くの車両は大型の物流トラックです。

インフラが姿を変えるとき、根本にはいつもモノを運ぶ目的がありました。そして物流が姿を変えるときは、いつも産業構造が大きく変革する時期とも言えます。

すべての人が関わる物流

ライフスタイルがどんなに多様化しようとも、物流と無関係の人はいません。ものづくりの現場ではもちろん、サービスを提供する企業でも、研究機関や教育現場でも、毎日のように何かしらのモノを送り、受け取っています。インターネットの仮想空間を仕事の現場にする人でさえ、リアルなモノのやり取りは欠かせません。

普段はあまり意識しない物流の仕組みですが、自然災害などでいったん流れが途絶えたとき、どれだけ多くの産業や人々が関わっているかを思い知ります。一見、物流とは無関係の仕事でも、実はモノの流れに関わっていることがあります。少し発想を変えれば、物流の課題を解決できるかもしれません。

どんな職種に就いていますか？ と聞かれたとき、関連会社の社員でなければ「物流関係です」とは答えないでしょう。しかし仕事の源流を突き詰めると、モノの流れと無関係な仕事はありません。物流を考えることは、自分の生活を考えることでもあるのです。

ぜひこの講座で物が届くまでの仕組みや最新の技術を学び、少しでも物流を身近に感じていただけたらと思っています。

CONTENTS

1章

物流とは何か

- 01 物流の基本理念 ——— 8
- 02 物流という言葉が示すもの ——— 10
- 03 ロジスティクスと物流の違い ——— 12
- 04 物流が発展するまで ——— 14
 - コラム ——— 16

2章

物流の5領域

- 01 物流を代表する5領域とは ——— 18
- 02 材料を集める「調達物流」 ——— 20
- 03 社内で行う「生産物流」 ——— 22
- 04 商品を消費者まで届ける「販売物流」 ——— 24
- 05 消費者から生産者へ戻す「回収物流」 ——— 26
- 06 回収物流の一部「リサイクル物流」 ——— 28
 - コラム ——— 30

3章

運送モード

- 01 物流の運送モードとは ——— 32
- 02 陸運 ——— 34
- 03 海運 ——— 36
- 04 空運 ——— 38
 - コラム ——— 40

4章

物流の6大機能「輸配送」

- 01 物流の6大機能とは —— 42
- 02 輸配送とは① 概要 —— 44
- 03 輸配送とは② 基礎知識 国内編 —— 46
- 04 輸配送とは③ 基礎知識 海外編 —— 48
- 05 輸配送とは④ 効率化のヒント —— 50
- 06 輸配送とは⑤ テクニック —— 52
- コラム —— 54

5章

物流の6大機能「荷役」

- 01 荷役とは① 概要 —— 56
- 02 荷役とは② 基礎知識 —— 58
- 03 荷役とは③ 積付けと積卸し —— 60
- 04 荷役とは④ ピッキング —— 62
- 05 荷役とは⑤ 効率化のヒント —— 64
- コラム —— 66

6章

物流の6大機能「保管」

- 01 保管とは① 概要 —— 68
- 02 保管とは② 基礎知識 —— 70
- 03 保管とは③ 工程・手順 —— 72
- 04 保管とは④ 保管のルール —— 74
- 05 保管とは⑤ テクニック —— 76
- コラム —— 78

1

学習スケジュールを立てる

テキストの学習をはじめる前に、講座全体の学習スケジュールと、各章・の学習予定日を決めましょう。

2

各単元の学習を行う

事前に立てたスケジュールに沿って、無理のないペースで学習を進めていきます。テキスト1巻目は全6章で構成されています。重要だと思った箇所には下線を引く、気づいたことは余白に書き留めるなどすると理解も深まります。

この講座でとくに大事なものは、物流の基礎や現代の事情を学び、自身の仕事に活用することです。

実践することを意識しながら読み、仕事に直結しそうな知識や、何らかのヒントを得られそうなノウハウは、積極的に取り入れるようにしましょう。

テキスト学習が終了したら、添削課題を作成し、提出します。

3

添削課題を提出する

各単元のテキスト学習が終了したら、添削課題に取り組みます。まずはじめは、テキストを見ずに取り組んで見ましょう。わからない部分については、テキストを読み返しながら解答を記入してください。すべての設問に解答し終わったら、期日までに提出してください。

1章

物流とは何か

LESSON

01 物流の基本理念

LESSON

02 物流という言葉が示すもの

LESSON

03 ロジスティクスと
物流の違い

LESSON

04 物流が発展するまで

コラム

LESSON

01

物流の基本理念

普段の生活を成り立たせるために欠かせない「物流」。
「物流が止まると生活が成り立たない」という言葉を聞くほど大切な活動です。
しかし、実際のところ「物流」とはどのような活動を指すのでしょうか。
ここでは物流の基本の「き」を説明します。

モノを運ぶだけが「物流」ではない

私たちの生活の中で、注文した商品が宅配便で自宅に届けられるのは日常の光景です。スーパーで商品を買うことができるのも、毎日のように店に品物が届けられているからです。

私たちが日常的に接している「物流」とは、文字通り「モノの流れ」であり、一般企業などが生産したモノを消費者へ届ける一連の流れのことです。

モノの「流れ」で一番わかりやすいのは、商品がトラックで運ばれて、消費者に届けられる過程です。しかし、物流業務とは、輸送や配送だけを指すものではありません。一般企業が製造した商品を消費者が注文したとき、商品が集積所に集められ、同じエリアに配達されるものを仕分けしたり、運びやすいように荷造りしたりといった作業もあります。商品がまとめられ、トラックに積み込まれるまでには、しばらくその場所に保管されることもあるでしょう。

「物流」とは、単にトラックで商品を運ぶだけでなく、一般企業など「生産者」の商品を預かって保管し、運びやすいように包装し、トラックに積み、正しい宛先に配達するまでの作業も含まれています。

このように物流の機能は大きく6つに分けられます。

①輸送・配送、②保管、③荷役、④包装、⑤流通加工、⑥情報管理、これらが「物流の6大機能」です。

日常生活では見えにくい「物流」もある

物流は、消費者が注文したものが届けられるという流れのことだけをいうのではありません。物流にはいくつかの種類があります。

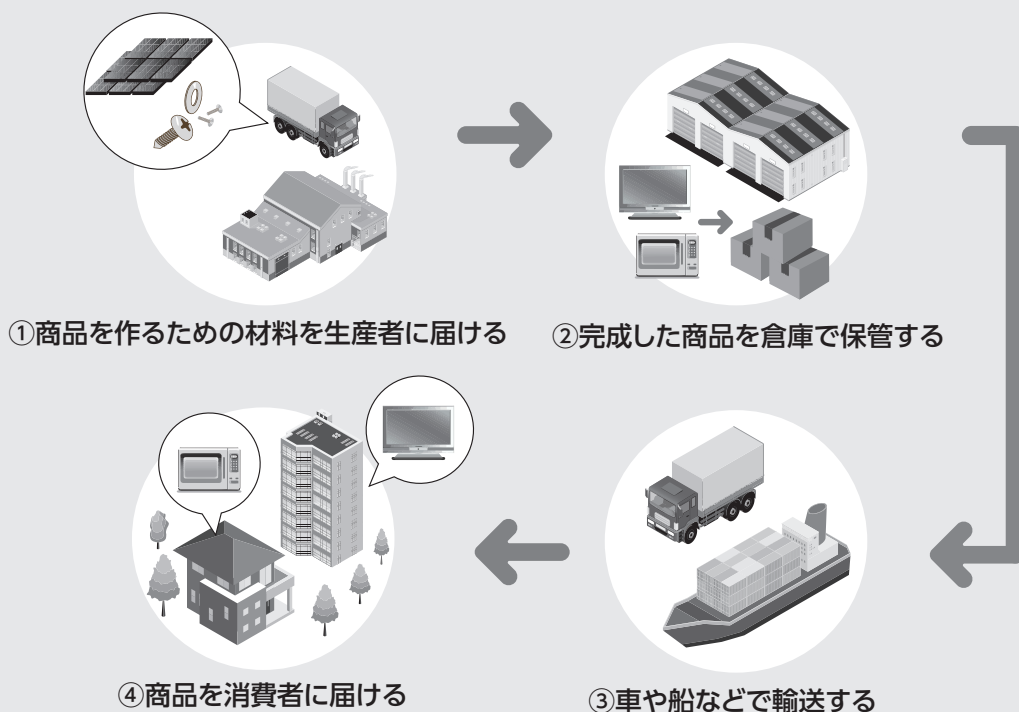
一般的によく知られているのは、企業が製造したものを消費者に届ける「販売物流」です。他に、企業がモノを作る際に、原材料や部品を調達することを目的としてモノを移動させる「調達物流」もあります。

また、企業がいくつも工場を持っている場合は、工場間で部品や資材などを移動させます。これは「生産物流」と呼びます。

さらにリサイクルのためにモノを移動させることは「リサイクル物流」と呼ばれています。これらについては後に詳しく説明します。



物流=生産したモノが消費者に届くまでの流れ



LESSON
02

物流という言葉が示すもの

「物流」を取り巻く仕事は、モノを運ぶことだけではありません。ところで、物流の他にも「流通」や「商流」といった混同しやすい言葉があります。それぞれの違いを知れば、物流の仕事の範囲がより明確になりますので、1つずつ見ていきましょう。

間違えやすい「物流」と「流通」

物流と流通はどちらも商品の移動を指しているのに混同しやすい言葉ですが、明確な区別があります。

物流は商品を作り消費者へ届けるまでのモノの移動の過程を示しますが、流通には商品が生産元の企業から販売店に移動して、そこから消費者に受け渡されるまでの流れも含まれています。物流がモノを移動させるための作業だとすれば、流通には「小売店での販売」も含まれます。インターネット販売なら、販売店から配送業者を経て、消費者に商品を渡すまでの過程も「流通」に含まれます。

つまり「流通」よりも「物流」のほうが意味が狭く、物流は流通の中に含まれるのです。

商品の受け渡しとともに「商流」が生まれる

物流と似た言葉に「商流」があります。

これも一般企業が作ったものを消費者に届けるまでの流れですが、物流が単純に「モノの流れ」であるのに対して、商流はモノが流れるときに生じる「所有権の移転」や「お金のやり取り」、それに伴う「交渉」や「契約」などの流れを指します。

「物流」と「商流」を合わせたものが「流通」

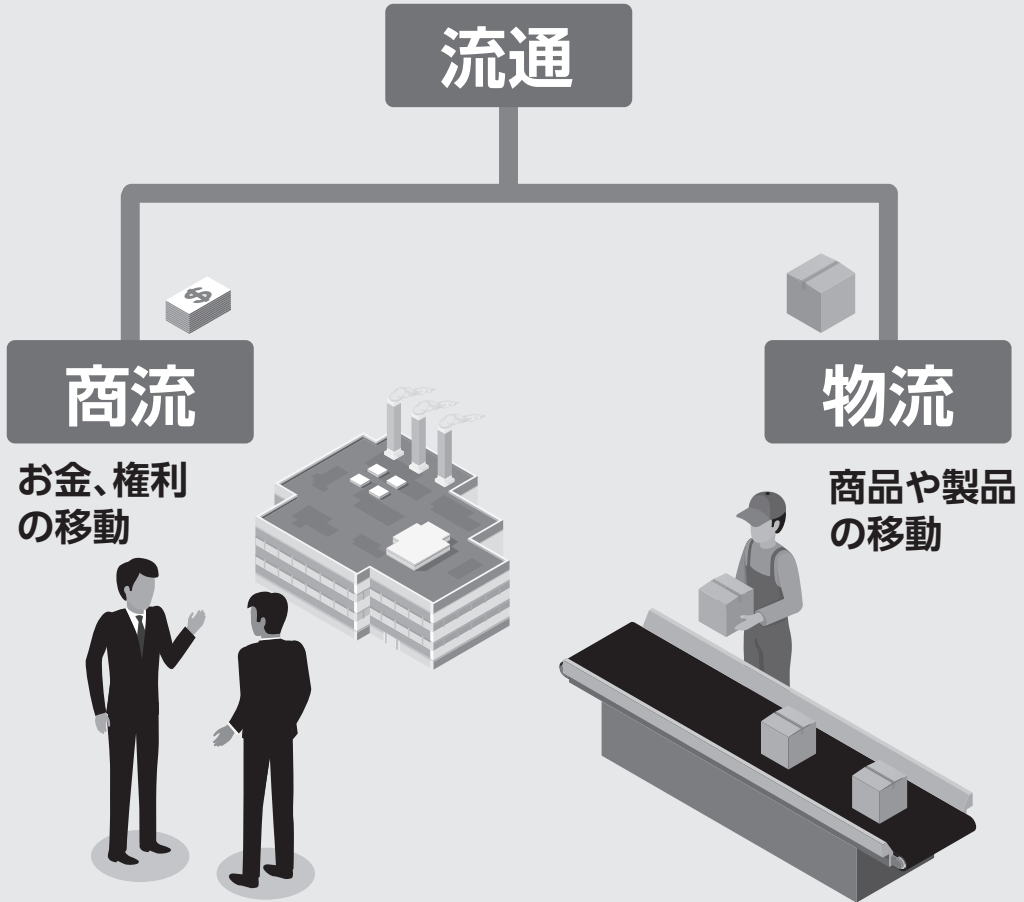
物流を代表する過程は、商品をトラックなどで運ぶ部分です。「商流」はその商品を買います・売りますという意味に伴って金銭が動く流れです。

「流通」は、モノの流れとお金の流れを合わせたもの。つまり、物流と商流を合わせたも

のが「流通」になります。



物流、商流、流通のちがい



物流＝「モノ」の流れ

商流＝「交渉」「権利」の流れ

流通＝物流と商流を合わせたもの